公益財団法人あきた企業活性化センター

ライフサイエンス人材育成事業

機能性食品分野



へのビジネス展開セミナー

県内ものづくり企業の方々による「機能性表示食品」等といった付加価値のある食品加工分野への新規参入や事業拡大の 支援を目的として標記セミナーを開催します。このセミナーでは、「機能性表示食品」市場の現状や今後のビジネス展開 について、各分野の専門家からお話をいただくほか、県内外の機能性食品分野の取組事例等の紹介を行います。

日時

平成31年3月7日 🔂 13:10~

場所

秋田県総合食品研究センター(1階)研修室 (秋田市新屋町字砂奴寄4-26)

定員

60名

プログラム

▼セミナー1〔13:15~14:00〕

テーマ「機能性表示食品の現状とこれか

٤ć



講 師 **菊 地 範 昭 氏** 公益財団法人 日本健康・栄養食品協会 機能性食品部長

現職: 公益財団法人 日本健康・栄養食品協会 機能性食品部長、一般社団法人 健康食品産業協 議会 理事

1985年 大塚製薬株式会社 入社

2000 ~2010年 同社 研究所長、開発部長歴任

*機能性食品の開発に従事2011年日本健康・労業会長協会

2011年 日本健康・栄養食品協会へ出向 *消費者庁より受託した「食品の機能性評価モデ ル事業」に従事

2013年 同社 開発部長

*新製品開発、機能性表示食品対応業務に従事 2017年 日本健康・栄養食品協会へ出向 (機能性 食品部長) 現在に至る

▼事例発表1〔15:30~16:00〕

発表者 秋田県総合食品研究センター(食品加工研究所) 食品機能グループ 研究員 佐々木 玲 氏 テーマ「続・機能性食品開発における秋田県総合食品研究 センターの支援」 ▼セミナー2 [14:00~15:20]

テーマ「農産物の機能性と独自ストーリーで ヒットをつくる」



西 沢 邦 浩 氏 日経BP社 日経BP総研メディカル・ヘ ルスラボ 客員研究員

健康医療ジャーナリスト 早稲田大学卒。小学館を経て、91年日経BP社入 社。98年『日経ヘルス』創刊と同時に副編集長 に着任。2005年より編集長。同誌を通して「デ トックス(解毒)健康法」や「"代謝美人"にな る方法」などを提案・発信。08年に『日経ヘル スブルミエ』を創刊し、10年まで編集長。 2014年日経BP総研マーケティング戦略研究所上 店研究員、16年より同主席研究員。2018年4月よ リ日経BP総研メディカル・ヘルスラボ客員研究 員。ほかに、同志社大学生命医科学部委嘱講師、 日本腎臓財団評議員、コンディショニング研究会 アドバイザーなどを務める。

▼事例発表2〔16:00~16:30〕

発表者 バイオジェニック株式会社 営業部 課長 川尻真己 氏 テーマ「古くで新しい機能性素材 鹿児島黒酢と黒麹発酵物 のご紹介」

申込方法

別紙(裏面)参加申込書によりFAXまたはメールにてお申込み下さい。

主催:公益財団法人 あきた企業活性化センター 後援:秋田県総合食品研究センター

〒010-8572 秋田市山王三丁目1-1 秋田県庁第二庁舎2階 TEL: 018-860-5702(直通) FAX: 018-860-5612 **HP:** http://www.bic-akita.or.jp/ **Email:** setsubi-ken@bic-akita.or.jp